

15-2 カムイユカラ

「シペチャリ ミントウチ (ヘムノエ)」

静内川の河童神

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=ヘムノイエ
V=hemnoye

V モコロ クル ヘ アン 寝ている者か
V mokor kur he an

V モナク クル ヘ アン 起きている者か
V monak kur he an

V カムイ オルシペ 神の話を
V kamuy oruspe

V アイェ ワ ネ ヤク 語ったなら
V a=ye wa ne yak

V アイヌ オツ タ 人間の所で
V aynu or_ ta

V チャヌプネ アン クス 教訓となるから
V canupne an kusu

V アイェ ハウエ ネ 私が言うのだ。
V a=ye hawe ne

V エネ オカ ヒ こういふことだ。
V ene oka hi

V トカプチ セコロ	十勝川と
V Tokapci sekor	
V アイェ ペトツ タ	呼ばれる川に
V a=ye pet or_ ta	
V シノ ニシパ	まことの旦那の
V sino nispa	
V レヘ タシ	名前は
V rehe tasi	
V シリサマイヌ	シリサマイヌ
V sirsamaynu	
V ネ ルウエ ネ	であるのだ。
V ne ruwe ne	
V シリサマイヌ	シリサマイヌは
V sirsamaynu	
V シネ マツネボ	一人の娘を
V sine matnepo	
V コラブ	持っていたのだが
V kor a p	
ネア シネ マツネボ	その一人娘が
nea sine matnepo	
V アイヌ オツ タ	人間のところに
V aynu or_ ta	
V イナン カ サッカ	比ぶ者のない美貌
V inan ka sakka	

V アリテク サッカ V ar itek sakka	比ぶ者のない手練
V ピリカ メノコ V pirka menoko	美しい女性が
V アン ルウエ ネ V an ruwe ne	いるのだ。
V キ アクス V ki akusu	そうしたところ
V ミントウチ カムイ V mintuci kamuy	河童が
V カムイ オツ タ V kamuy or_ ta	神のところで
V ヤイコトムカ プ V yaykotomka p	ふさわしい人（結婚相手）を
V フナラ ヤッカ V hunara yakka	探しても
V オアラリサム V oarar isam	全くいない
V アイヌ オツ タ V aynu or_ ta	人間のところで
V ネア シリサマイヌ V nea sirsamaynu	そのシリサマイヌ
V コロ マツネポ V kor matnepo	の娘を

V ヤイコトムカ V yaykotomka	見初めた。
V タンペ クス V tanpe kusu	このために
V アイヌ ネ ヤイカラ ヒネ V aynu ne yaykar hine	人間に化けて
V シリサマイヌ V sirsamaynu	シリサマイヌ
V オロ タ V oro ta	のところに
イヨルンクン ネ アン シリ iyorunkur_ ne an siri	住み着いた様は
V エネ オカ イ V ene oka h_i	このようであった。
V レプン チコイキプ V repun cikoykip	沖の獲物
V ヤウン チコイキプ V yaun cikoykip	陸の獲物
V エアウナルラ V eawnarura	を獲ってきて
V シリサマイヌ V sirsamaynu	シリサマイヌを
V エピリカクル V epirkakur	大切に大切に

V レシパ カネ V respa kane	養って
V ネア シリサマイヌ V nea sirsamaynu	そのシリサマイヌが
エラマス クス eramasu kusu	好もしく思っ
V ネア ミントウチカムイ V nea mintucikamuy	その河童
V ココウネ コロ ワ V kokowne kor wa	を婿にして
V オカ ルウエ ネ V oka ruwe ne	いるのだ。
V キワ ネ コロカ V ki wa ne korka	そうしたのだけれど、
V オアラ アナクネ V oar anakne	全くもって
V アラケウトウム V arkewtum	心の半分は
V アエアナサプクル V a=eanasapkurur	危なげな者
V ネ ルウエ ネ V ne ruwe ne	であるのだ。
V タンペ クス V tanpe kusu	そのために

V シリサマイヌ V sirsamaynu	シリサマイヌが
V ソパケ ウン カムイ オロ ワ V sopake un kamuy oro wa	家の守護神に
V アウエンタラプテ V a=wentarapte	夢を見せられ
キ ヒネ ネア ki hine nea	て、その
シリサマイヌ sirsamaynu	シリサマイヌ
V コロ ココウエ V kor kokowe	の婿を
V エニウチンネ ルウエ ネ V eniwcinne ruwe ne	追い出したのだ。
V エニウチンネ ヒネ V eniwcinne hine	追い出されて
V ソイネ キ コロ V soyne ki kor	(河童は) 外に出ると
V エネ イタキ V ene itak h_i	このように言ったこと
V 「イケスイアナクン オラノ V “ikesuy=an y_akun orano	「私が出て行ったならそれから
タン トウペツ tan tupet	この二つの川

テエタ レヘ アナク
teeta rehe anak

昔の名は

ポロカリペツ
porokaripet

大きい回る川

V ネア コロカ
V nea korka

であるけれど、

V イケスイアナクン オラノ
V ikesuy=an y_akun orano

私が出て行ったなら

アレコ カトウ
a=reko katu

それからの名は

V トカプチ セコロ
V Tokapci sekor

十勝川と

V アレコ ルウエ ネ
V a=reko ruwe ne

呼ばれるのだ。

V エエパキタ
V eepakita

その次に

ネア…… トカプチ チタ ハル
nea ...Tokapci cita haru

その十勝川の畑の作物

V チコイキプ ハル
V cikoykip haru

狩の獲物の

V ハル ラマチ
V haru ramaci

食糧の魂を

V ネア ミントウチカムイ
V nea mintucikamuy

その河童が

V コロ ワ イケスイ 持って、怒って出て行った
V kor wa ikesuy

V ルウエ ネ ヤクン なら
V ruwe ne yakun

V オロワノ それから
V orowano

エタカスレ 特に
etakasure

V タン トカプチ この十勝川に
V tan Tokapci

V ケムラモマ 飢饉の神が入る
V kemram oma

V キ ナンコン ナ」 だろうよ。」
V ki nankor_ na”

V オロワウン それからまた
V orowaun

ネア セコロ イタク コロ ソイネ ルウエ ネ イネ
nea sekor itak kor soyne ruwe ne h_ine
その と話しながら外に出て、

オラノ コタン ピシ ノ ネア ミントウチカムイ
orano kotan pis no nea mintucikamuy
それから村ごとにその河童の神が

ヤイエヤントエトウン ネ ヤッカ
yayeyantoetun ne yakka
自分の泊まる宿を借りようとしても

V アラ ケウトウム	心の半分は
V ar kewtum	
V アエアナサプクル	手に負えない人
V a=eanasapkur	
V ネ ワ ネンカ エハム カ ソモ キ	であって、誰も泊めようとしな
V ne wa nenka eham ka somo ki	
V キ ワ エカイネ	で来たあげく
V ki wa ek ayne	
V タン シピチャラ	この静内川を
V tan Sipicar	
V アラパ アイネ	進んでいくと
V arpa ayne	
V ナイ ネ アラパ ワ	沢になって行く
V nay ne arpa wa	
V アラパ アイネ	さかのぼっていくうちに
V arpa ayne	
V コッ ネ アラパ ワ	谷となって行く。
V kot ne arpa wa	
V コテトコホ	谷の先
V kot etokoho	
V エコタンコロ ペ	に住んでいる者の
V ekotankor pe	
V レヘ タシ	名こそ
V rehe tasi	

V トイコンチコロ 土の帽子かぶり
V Toykoncikor

V ムンコンチコロ 草の帽子かぶり
V Munkoncikor

V ネ ルウエ ネ ワ であるのであって
V ne ruwe ne wa

V オハ ウェン カムイ 凶悪の神を
V oha wen kamuy

V ウエハム マ 引き止めて
V ueham w_a

V タン シピチャラ この静内川が
V tan Sipicar

(次の文は散文になる)

シピチャレムコ コヤントネ ワ 静内川の上流に寄寓して
Sipicar emko koyantone wa

(再び韻文に戻る)

ミントウチカムイ 河童の神が
mintucikamuy

V キ ルウエ ネ するのであった。
V ki ruwe ne

V ヤクン すると、
V yakun

(次から散文)

ウサ ハル ラマツコロ ワ

usa haru ramatkor wa

いろいろな食物の魂を持って

イケスイ ペ ネ クス

ikesuy pe ne kusu

出てきたものであるので、

(韻文に戻る)

V タン シピチャラ

この静内川が

V tan Sipicar

V エタカスレ

他より余計に

V etakasure

V アエポピリカ

食糧が豊かになる

V aep opirka

V キ ルウエ ネ

のだ。

V ki ruwe ne

V キ ワ ネヤッカ

そうだけれども、

V ki wa neyakka

V ミントウチカムイ

河童の神が

V mintucikamuy

V ヤク ウク シリ

役目を果たす様子は

V yaku uk siri

V エネ アン クニ

このようになる

V ene an kuni

V

(次から散文)

パピシ コラチ

papis koraci

毎年のように

サラッカムイ アン ナンコン ナ。

sarakkamuy an nankor_ na.

水死体があるだろうよ。

(韻文に戻る)

アイヌ オツ タ

aynu or_ ta

アイヌのところで

V アヌ ワ ネ ヤク

V a=nu wa ne yak

聞いたのなら

V ヤイトウパレアン ナ

V yaytupare=an na

気を付けるのだよ。

V チャヌプネアン ナ

V canupne=an na

教訓とせよ。

V エヌ ヘタプ キ

V e=nu hetap ki

お前が聞いたか

V モコロ クル ヘ アン

V mokor kur he an

寝ている者か

V モナツクル ヘ アン

V monakkur he an

起きてる者か

ヘムノイ…… シコロ

hemnoy... sekor

と

V ウララ…… ウライ カ タ 梁の上で少し
V urar... uray ka ta

ポンノ ホツケ ワ 少し横になって、
ponno hotke wa

ポンノ モコロ クル 少し眠っていた者が
ponno mokor kur

コロ ウェンタラプ ネ 見た夢なのだ。
kor wentarap ne

シコロ アン という
sekor an

カムイユカラ クヌ プ ネ アワ
kamuyyukar ku=nu p ne awa
神謡を聞いたもんだ。

サタモ
satamo
さたも

(フチ：おれ、おらも、おれ聞いたの違うよ)

マク イェ ハウエ アン?
mak ye hawe an?
なんて言ったの？

うん、あーそうかそうかうん

(フチ：タアン アコロ ペツ ペシ サン ハウエ ネ アペコロ イェ した)
(フチ： taan a=kor pet pes san hawe ne apekor ye SITA)
(フチ：この私の川に沿って下の方へ行ったように言った)

あーそうか

シピチャッ タ ネ ヤカイエ ヒ ネノほんとうに シピチャッ タ
Sipicar_ ta ne yak a=ye hi neno HONTOUNI Sipicar_ ta
静内川っていうところはどのように本当に静内川に

(フチ：オラノ しげのばば イェ エアシカイ ワ それ)
(フチ：orano SIGENOBABA ye easkay wa SORE)
(フチ：おらの一 シゲのババがそれ言うのが上手で)

ソレクス エタカスレ アン ペ
sorekusu etakasure an pe
それこそ他より余計にあるものが

(フチ：何回も XXX)

サラッカムイ ネ ヤク アイェ プ
sarakkamuy ne yak a=ye p
水死体であるということを

(フチ：ハシナウコロカムイ ネ クニ アラム
(フチ：hasinawkorkamuy ne kuni a=ramu
(フチ：狩猟神だと私が思った

ハシナウ エテテ カネ ワ パッカイ メノコ
hasinaw etete kane wa pakkay menoko
枝つきの木幣を杖にして、子をおぶり

ホックホック コロ
hotkuhotku kor
かがみながら

エネ ハウエアニ ウエンタラブ
ene hawean h_i wentarap
このように言ったことを夢に

アコロ セコロ ハウエアン コロ)
a=kor sekor hawean kor)
見たといいながら)

うん と

(フチ：イエしたってゆうことゆって聞いたのに)

(フチ：ye したってゆうことゆって聞いたのに)

(フチ：言ったっていうこと聞いたのに)

ヘンパラ ワノ

hempara wano

いつから

クヌ プ ネ アニ アン やっぱり

ku=nu p ne an h_i an YAPPARI

私が聞いたものであったか、やっぱり

コント まー そういう ウパシクマ

konto MA SOUYUU upaskuma

それから、まーそうゆう昔話

だから シサム ウタラ カヌ ヘネ キワ

DAKARA sisam utar ka nu hene ki wa

だから、和人たちも聞きでもして

ちーっとその シピチャツ トウラシ

ちーっとその **Sipicar_turasi**

ずーっとその、静内川沿いに

何里おきだか地蔵さん祀って

シラン ペ ネ ヒ ネ ヒ ワノ

siran pe ne hi ne hi wano

いる様子であって、その時から

その サラッカムイ なくなた。

その **sarakkamuy** なくなた

その水死者がでなくなつた。

(フチ：ネ サッシピチャラ シコロ

(フチ：ne sat Sipicar sekor

(フチ：その乾いた静内川と

アイェ ヒ アン。とっか シピチャン の奥の方には)

a=ye hi an. TOKKA Sipicar_ の奥の方には)

言うところがある。どっか静内川の奥の方には)

うん

(フチ：シネ アウエヘ

(フチ：sine awehe

(フチ：ひとつの支流

オクツサク ワ サツ ワクス

okutsak wa sat wakusu

出口がなくて、干上がっているの

オサツ たか なんとけ)

osat たか なんとけ)

川尻が乾いた、たかなんたけ)

サッシピチャツ

satsipicar_

乾いた静内川

(フチ：サツ シピチャラ シコライエ。オロ タ

(フチ：sat Sipicar sekor a=ye. oro ta

(フチ：乾いた静内川という。そこで

ウエンカムイ アン ヒ ネ ワクス

wenkamuy an hi ne wakusu

悪い神がいるところだから

オサツ ヒ ネ セコロ

osat hi ne sekor

その川尻が乾いているのだと

フチ ウタラ ハウエオカ ハウエ クヌ したものの。

huci utar haweoka hawe ku=nu SITAMONO

おばあさん達が言ったのを聞いたもの。

ヌマン イェ ハウエ シンナイノ アン。したからXXX) ^[1]

numan ye hawe sinnayno an. したからXXX)

昨日言ったことは違っていた。したからXXX)

ふーん

(フチ：エイエしたらきつと エイエ ヒケ

ほんとだなーっと思っておらいた)

(フチ：e=ye したらきつと e=ye hike ほんとだなーっと思っておらいた)

(フチ：お前がそうやって言ったらきつと言うことは ほんとだなーっと思っておらいた)

カニ カ アコロ ウナラペポウタリ

kani ka a=kor unarpepoutari

私も私のおばさんたち

アコロ フチ ウタラ イェ ワ クヌ

a=kor huci utar ye wa ku=nu

おばあさん達が言って、私が聞いた。

ヒネノ クイエ ハウエ よ。(重なって聞こえない)

hi neno ku=ye hawe YO.

聞いた通りに言ったんだよ。

(フチ：シンネ クイエ ハウエ

(フチ：sinne ku=ye hawe.

(フチ：そのように私も言ったのよ。

イエ ワ クヌ ランケ いっちでも キ

ye wa ku=nu ranke ITTIDEMO ki

言うのをいつでも聞いていた。

カレ ウナラペ だの シゲばばだの

Kare unarpe DANO SIGE BABA DANO

カレおばさんのシゲ婆だの

ウコウエカラパ コロ ウコキパ ハウエ クヌ プ ネ)

ukouekarpa kor ukokipa hawe ku=nu p ne.)

が互いに集まったら語りあっていたのを聞いたもんだ)

【注】

[1] 声が重なって聞き取りづらい。